

頁	行・図・式	誤	正
19	式(1.24)中	$\hat{h}_k =$	$\hat{h}_{k+M/2} =$
21	式(1.26)中	$\hat{h}_k =$	$\hat{h}_{k+M/2} =$
30	図1.27 キャプション	ノッチフィルタの振幅特性 r による変化	r によるノッチフィルタの振幅特性の変化
49	脚注†1	振幅スペクトルも位相スペクトルも	振幅スペクトルは
53	上から 8行目	無声音の場合, 白色雑音で	無声音の場合, 音源は白色雑音で
72	上から 7行目	$F_s/2 = 8\text{kHz}$	$F_s/2 = 8[\text{kHz}]$
75	下から 2, 3行目	シャープな	鮮明な
79	上から 1行目	に対応させる。	$ S_l(k) $ に対応させる。
〃	上から 2行目	画像の1列目の	画像の0列目の
〃	〃	$ S_1(k) $	$ S_0(k) $
〃	上から 3行目	$\angle S_1(k)$	$\angle S_0(k)$
〃	式(3.6)中 3か所	$S_1(k)$	$S_0(k)$
〃	式(3.6)中 2か所	$S(k)$	$S_0(k)$
〃	式(3.6)中	$(2M - k)$	$(2K - k)$
〃	上から 8行目	4. 複素スペクトル $S_1(k)$	4. 複素スペクトル $S_0(k)$
〃	式(3.7)中	$s_1(m) = \text{IDFT}[S_1(k)]$	$s_0(m) = \text{IDFT}[S_0(k)]$
〃	上から 10行目	これが1フレーム目の	これが0フレーム目の
〃	上から 11行目	5. 2列目に対しても	5. 1列目に対しても
〃	上から 11行目 2か所	$S_2(k)$	$S_1(k)$
〃	式(3.8)中	$s_2(m) = \text{IDFT}[S_2(k)]$	$s_1(m) = \text{IDFT}[S_1(k)]$
〃	上から 13行目	2 フレーム目の音信号 $s_2(m)$	1 フレーム目の音信号 $s_1(m)$
〃	下から 6行目	画像 P の	0 フレーム目から $L-1$ フレーム目までのすべての音信号を順番に並べたものが合成音 $s(n)$ となる。画像 P の
98	上から 4行目	$\xi = \sigma_s/\sigma_d$	$\xi = \sigma_s^2/\sigma_d^2$
99	式(4.17)中 2か所	$\xi_l(k)$	$\hat{\xi}_l(k)$
〃	上から 12行目	$\xi_l(k)$	$\hat{\xi}_l(k)$
〃	式(4.18)中 2か所	$\sigma_d^2(l, k)$	$\hat{\sigma}_d^2(l, k)$
〃	式(4.19)中	$\sigma_d^2(l, k)$	$\hat{\sigma}_d^2(l, k)$
〃	下から 4行目 3か所	$\sigma_d^2(l, k)$	$\hat{\sigma}_d^2(l, k)$
101	上から 3行目	いずれも確率密度関数の条件を	いずれも式(1.3)の確率密度関数の条件を
102	脚注†2	$p(x) = \frac{1}{\sqrt{2\sigma^2}} \exp\left(-\frac{ x-\mu ^2}{2\sigma^2}\right)$	$p(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} \exp\left(-\frac{ x-\mu ^2}{2\sigma^2}\right)$
104	上から 6行目	$\frac{\partial J}{\partial S_R} = 0$	$\frac{\partial J_{\text{MAP}}}{\partial S_R} = 0$
119	式(5.13)中 右辺16か所	R	R_{xx}
121	式(5.14)中	$\mu \Delta_m(n)$	$\mu_0 \Delta_m(n)$
〃	上から 6行目	μ	μ_0
〃	上から 7行目	時刻 n における	時刻 n の
〃	式(5.16) 下から2行目	$-E[x(n-m)(d(n)-y(n))]$	$-2E[x(n-m)(d(n)-y(n))]$
〃	式(5.16) 下から1行目	$-E[x(n-m)e(n)]$	$-2E[x(n-m)e(n)]$
122	上から 4行目	$m=0, 1, \dots, M-1$ である。	$m=0, 1, \dots, M-1$ であり, $\mu = 2\mu_0$ である。
129	上から 12行目	$d(n)$ の逆位相信号となれば	$d(n)$ と一致すれば
164	上から 7行目	L 回の乗算と加算が	$2L$ 回の乗算と L 回の加算が
185	下から 2行目	また, $c_L(n)$ は	また, L はケプストラムを低次に制限するためのパラメータであり, $c_L(n)$ は
188	上から 1行目	シミュレーションを行った。スペクトログラムの作成は	シミュレーションを行った。ここで, 式(6.43)において $N=512$, $L=26$ とした。スペクトログラムの作成は